

第4次福知山市子どもの読書活動推進計画



令和8年2月

福知山市教育委員会

福知山市の教育目標

『自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成』

目次

第1章 計画策定の基本的な考え方	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけと期間	1
3 計画の策定体制	2
第2章 福知山市の現状と課題について	3
1 子どもの読書活動を取り巻く社会の状況	3
2 第3次計画における取組の成果と課題	11
第3章 「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」の基本方針	13
1 計画の理念	13
2 計画の推進体制	13
3 計画の進行管理	14
4 施策体系	15
第4章 「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」の具体的方策	16
1 家庭で本と出会う	16
2 保育園・幼稚園・こども園等で本と出会う	18
3 学校で本と出会う	20
4 市立図書館で本と出会う	22
5 地域で本と出会う	24
参考資料	25
関係機関における子どもの読書活動調査結果	25
用語解説	28
策定委員会 委員名簿	29

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、京都府では平成16年3月に「京都府子どもの読書活動推進計画」が策定されました。

福知山市では新図書館建設計画にあわせ「福知山市立図書館基本計画」と「福知山市子どもの読書活動推進計画」（以下「第1次計画」という。）を平成20年3月に策定しました。

第1次計画は平成20年度から概ね5年間の計画としていたこと、及び京都府が第3次子どもの読書活動推進計画を策定したことなどを受け、平成27年度に第1次計画を見直し、図書館中央館の移転に伴う新規開館などの状況の変化を踏まえ、平成28年度から令和2年度を計画期間として第2次計画を、令和3年度から令和7年度を計画期間として第3次計画を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んできました。

第3次計画の期間が令和7年度が最終年度であることから、これまでの取組の成果と課題を踏まえたうえで令和8年度以降の第4次計画を策定します。

2 計画の位置づけと期間

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく市町村計画として策定します。また、本計画は「まちづくり構想福知山」基本政策4「市民ひとりひとりが、いつからでも何歳でも自分らしく学びを深められるまち」政策目標4-1「子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実」及び4-2「それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり」の個別計画として位置づけます。

（1）関連計画

年 月	主な計画
平成13年12月	国が「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定
平成16年 3月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画」を策定
平成20年 3月	「福知山市図書館基本計画」「福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定
平成27年 1月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画」（第三次推進計画）を策定
平成28年 2月	「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定
令和 2年 3月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画」（第四次推進計画）を策定
令和 3年 2月	「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定
令和 7年 3月	京都府が「京都府子どもの読書活動推進計画」（第五次推進計画）を策定

（2）計画の期間 計画期間は、令和8年度から概ね5年間とします。

計画期間年度	H20～H27	H28～R2	R3～R7	R8～R12
福知山市子どもの読書活動推進計画	第1次	第2次	第3次	第4次

3 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、市内の児童・生徒及び3～5歳児の保護者への独自の個別アンケート調査と、保育園・幼稚園・こども園等、学校、児童館、放課後児童クラブなどの関係機関における子どもの読書活動調査を実施し、現状の把握と課題の洗い出しを行い、学識経験者や子どもの読書活動の有識者などから構成される策定委員会で意見をいただきながら、子どもの読書活動に関する課題の確認と具体的な取組などの協議を行いました。

(1)「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定委員会

本計画は、学識経験者やボランティア関係者などから構成される「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画策定委員会」での意見や計画案の検討などを踏まえたうえで策定しました。

(2)「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」庁内委員会

庁内の関係部署から構成される「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画庁内委員会」で策定委員会の協議資料や計画の素案を作成しました。

(3) 個別アンケート調査の実施 ※関係機関における子どもの読書活動調査結果 P.25

「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定するにあたり、福知山市内の児童・生徒及び3～5歳児の保護者を対象に、子どもの読書活動の実態を把握し課題を洗い出すために、今回はじめての試みとして独自の個別アンケート調査を実施しました。

【調査概要】

調査対象：市内小・中・高等学校に通う児童・生徒

市内保育園・幼稚園・こども園等に通園する3～5歳児の保護者

調査期間：令和7年7月

調査方法：logo フォームまたはアンケート用紙の配付、回収にて実施

【回収状況】

対 象		対象人数	回答数	回収率
小学校（14校）	1・2年生	1,247	1,013	81%
	3・4年生	1,269	936	74%
	5・6年生	1,362	1,135	83%
	合 計	3,878	3,084	80%
中学校（11校）		2,279	1,732	76%
高等学校（6校）		3,427	1,214	35%
保護者（3～5歳児）		1,500	632	42%
総 計		11,084	6,662	60%

第2章 福知山市の現状と課題について

1 子どもの読書活動を取り巻く社会の状況

第3次計画期間（令和3年度～令和7年度）においては社会全体のデジタル化が急速に進み、オンラインでの行政手続きや会議など様々な場面でデジタル技術が身近なものになりました。

学校では、GIGAスクール構想によりICT環境整備が推進され、児童・生徒にタブレット端末が整備されました。学校教育においてはこれを活用した取組が進められており、令和4年度からは「ふくちやま電子図書館」の電子書籍が学校での読書活動にも活用されています。

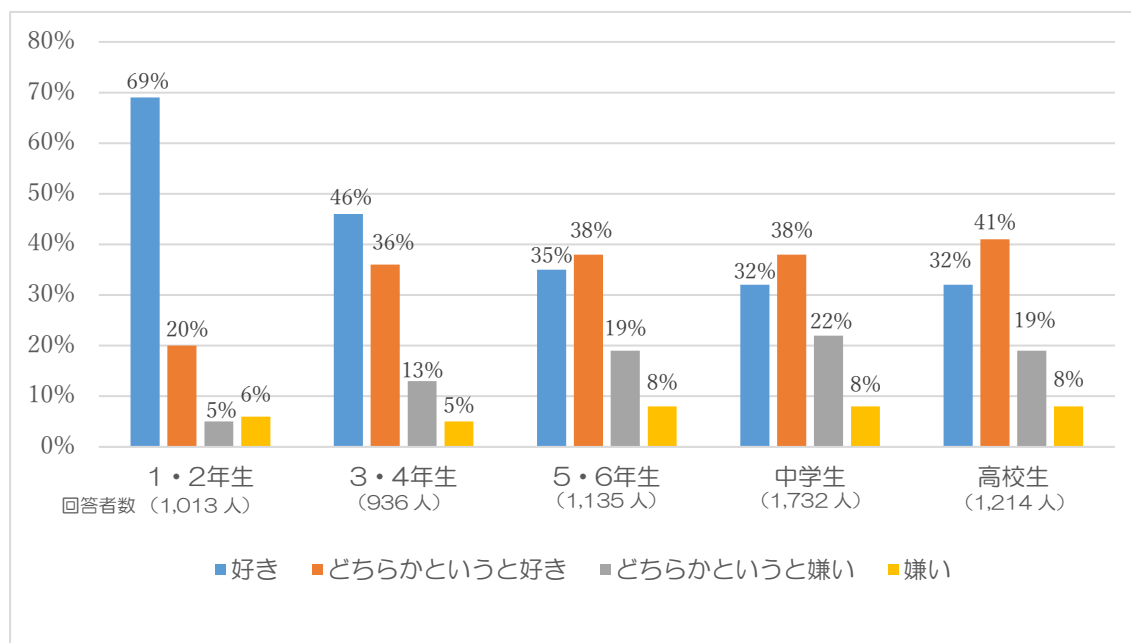
家庭においても、YouTubeや動画配信サービスなど様々なデジタルサービスがより身近なものとなり、子どもが興味を持つ対象が広がっていますが、児童・生徒の個別アンケート結果では、70%以上が読書が「好き」または「どちらかという好き」と回答しており、読書への興味関心は高い傾向にあります。

（1）市内小学校・中学校・高等学校に通う児童・生徒個別アンケート

【読書に対する意識】

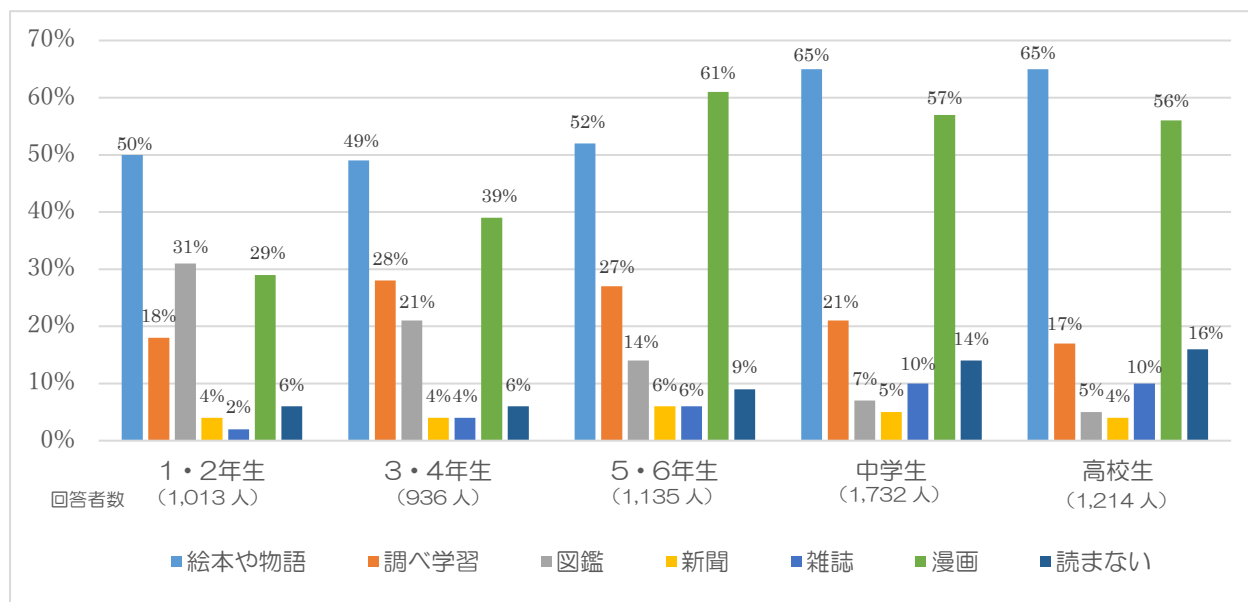
1. あなたは読書が好きですか？

どの世代も70%以上が読書が「好き」または「どちらかという好き」と回答している。小学校1・2年生は、69%が「好き」と回答しているが、「好き」の割合は学年が上がるにつれて減少している。



2. あなたはどんな本をよく読んでいますか？（複数回答）

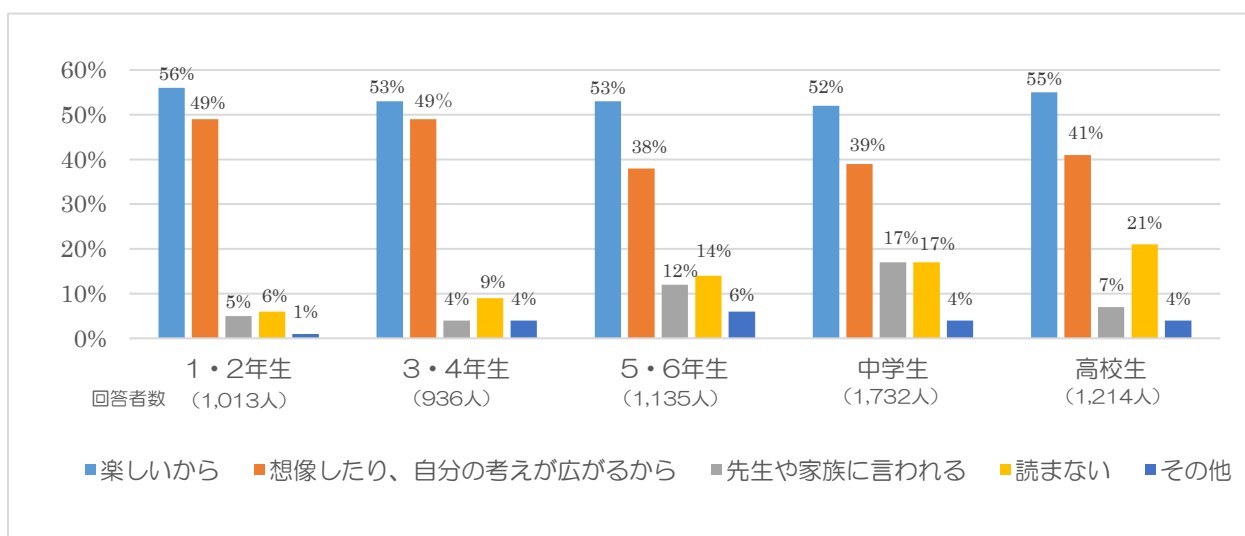
どの世代も概ね 50%以上が「読み物」を読んでいると回答している。小学校 5・6 年生以上の世代は、50%以上が「漫画」をよく読んでいると回答している。小学校 1・2 年生は「図鑑」を読んでいる割合が高い。



【本を読む理由・読まない理由】

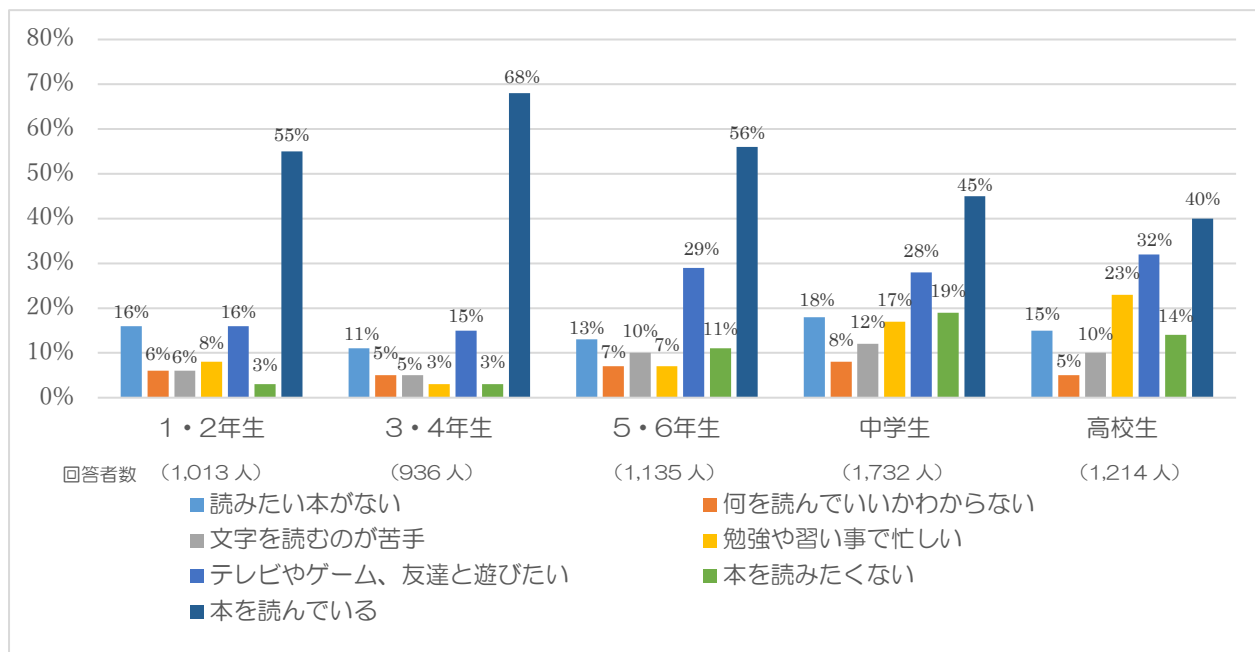
3. あなたが本を読む理由を教えてください。（複数回答）

どの世代も 50%以上が、本を読むのが「楽しいから」と回答している。次に、「想像したり、自分の考えが広がるから」と答えた割合が高く、本を読む理由のほとんどが積極的な回答である。学年が上がるにつれ、本を「読まない」と回答している割合が高い。



4. あなたが本を読まない理由を教えてください。（複数回答）

どの世代も半数近くが「本を読んでいる」と回答している。本を読まない理由として最も多かったのが、「読みたい本がない」と回答している。

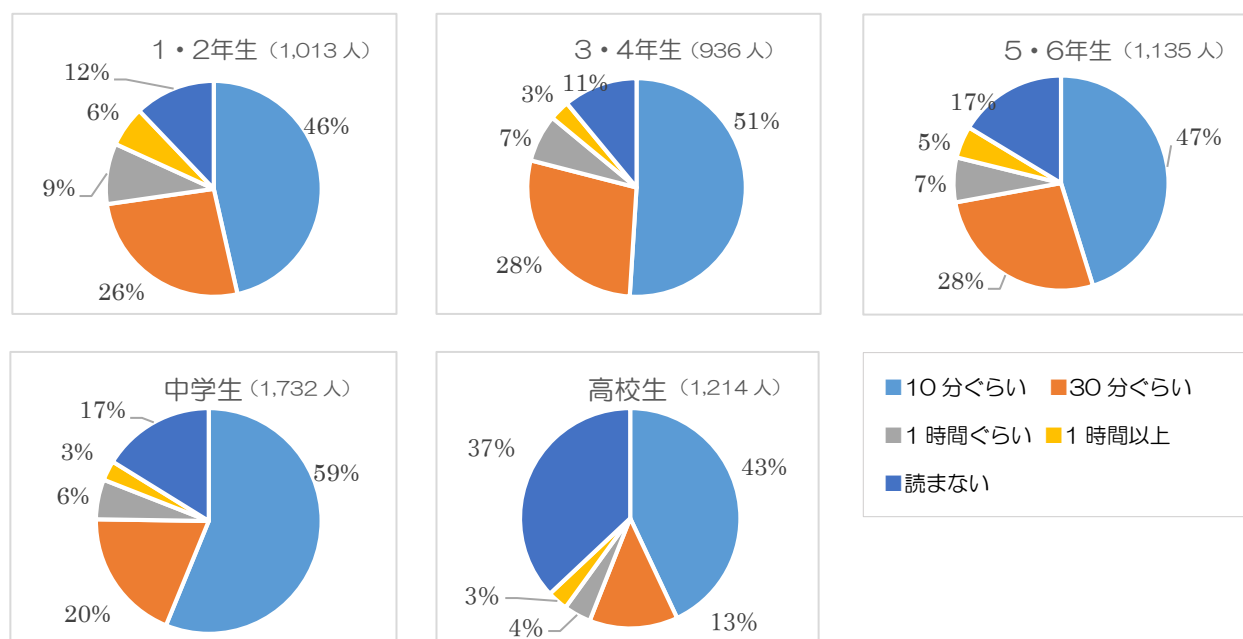


【読書時間】

5. あなたは一日にどのくらい本を読みますか？

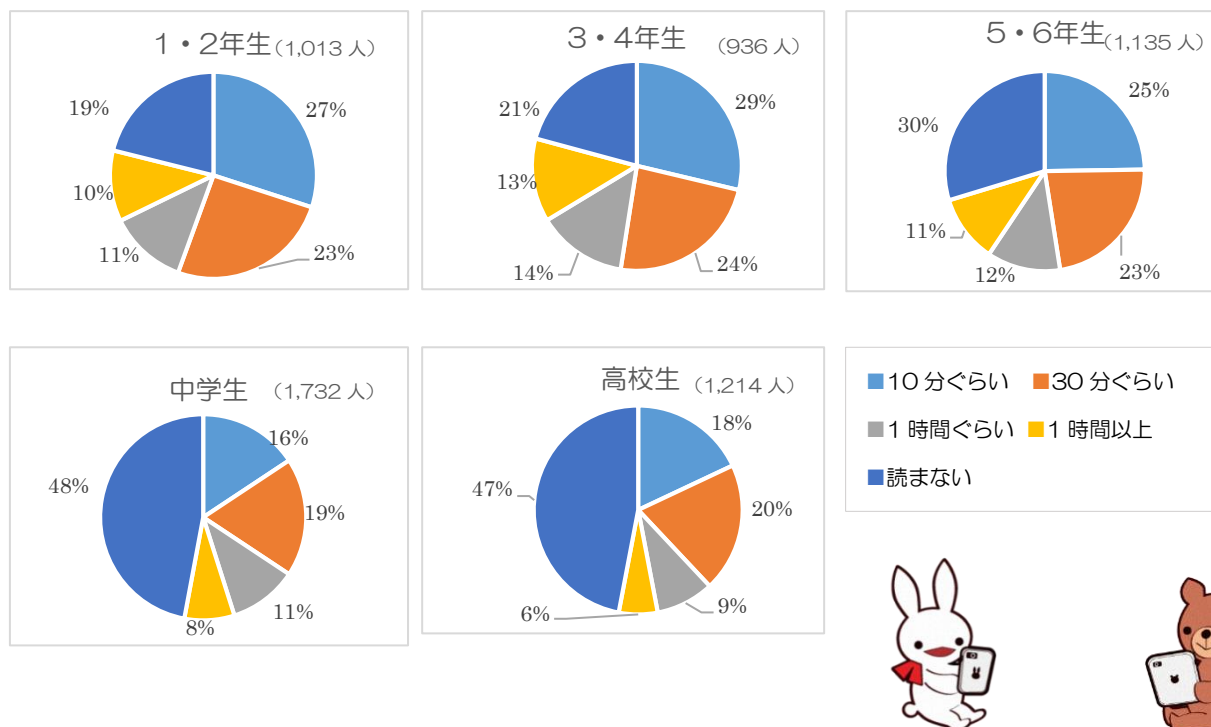
【学校がある日】

学校がある日は、小・中学生は、70%以上が「10分ぐらい」または「30分ぐらい」読書をしていると回答している。



【休日】

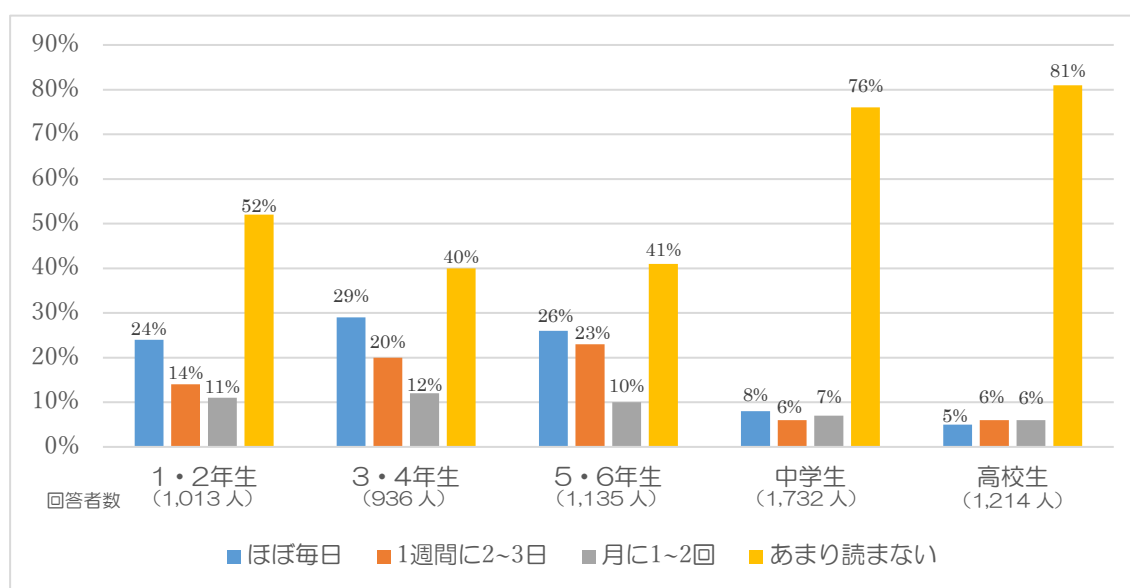
休日は、小学生の約 50%が「10 分ぐらい」または「30 分ぐらい」読書をしている。
中学生の 48%、高校生の 47%が「本を読まない」と回答している。



【電子図書館の利用状況】

6. 電子図書館の本を読みますか？

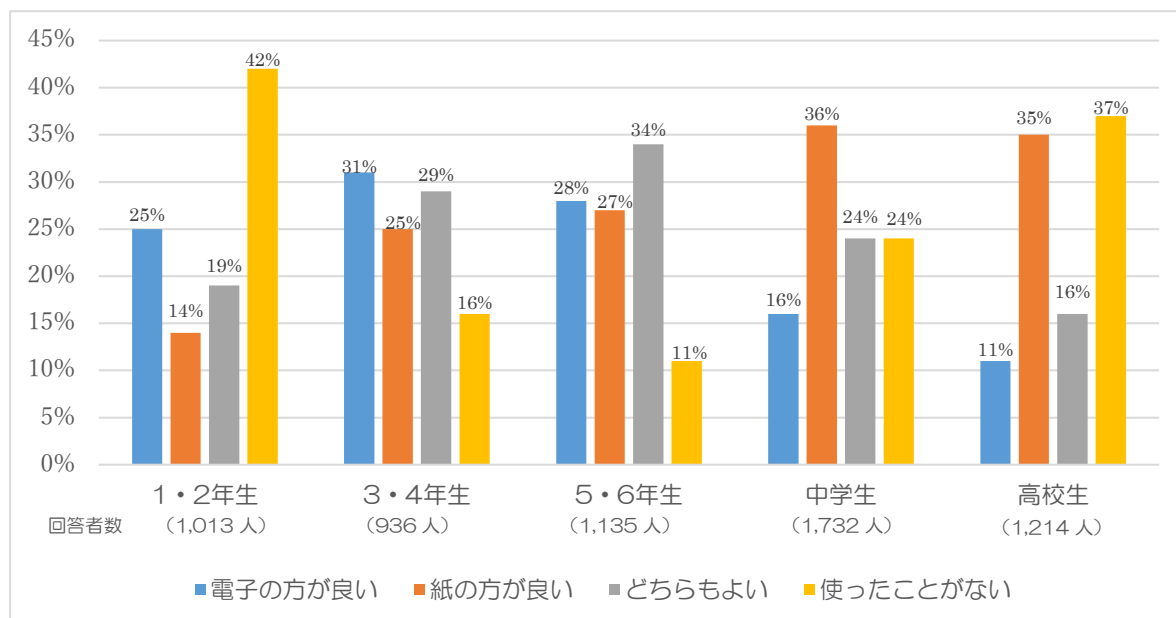
小学校 3～6 年生の利用率が高い。中学生・高校生はあまり利用していない。



7. 紙の本に比べて、電子図書館の本はどのように感じますか？

小学生は、「どちらかと言えば電子図書館の方が良い」と答えた割合が高い。

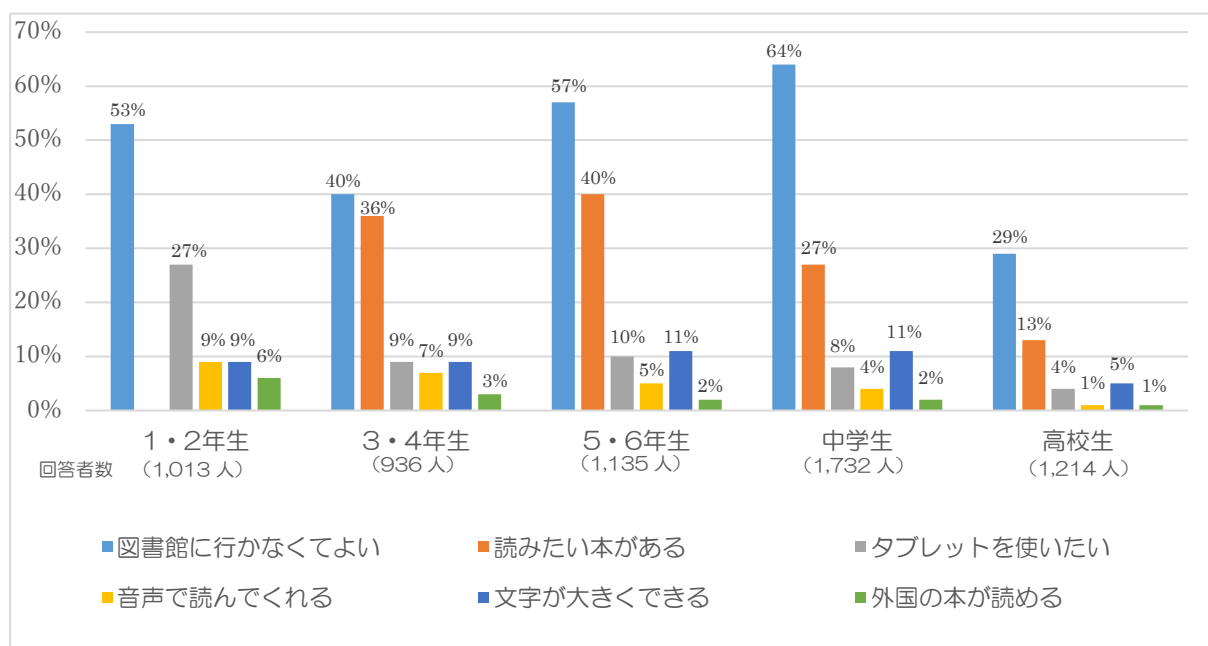
中学生・高校生は「どちらかと言えば紙の本の方が良い」と答えた割合が高い。



8. 電子図書館を使う場合、理由を教えてください。(複数回答)

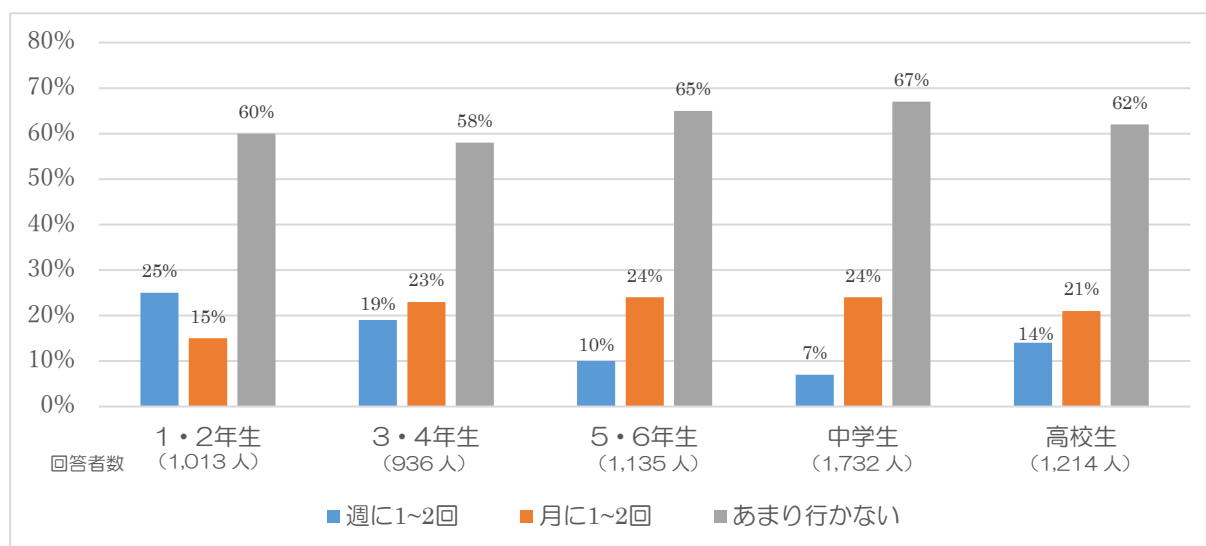
どの世代も「図書館に行かなくてもよい」と答えた割合が高い。

※電子図書館専用IDは、市内小中学校へ配付している。



9. 市立図書館に行きますか？

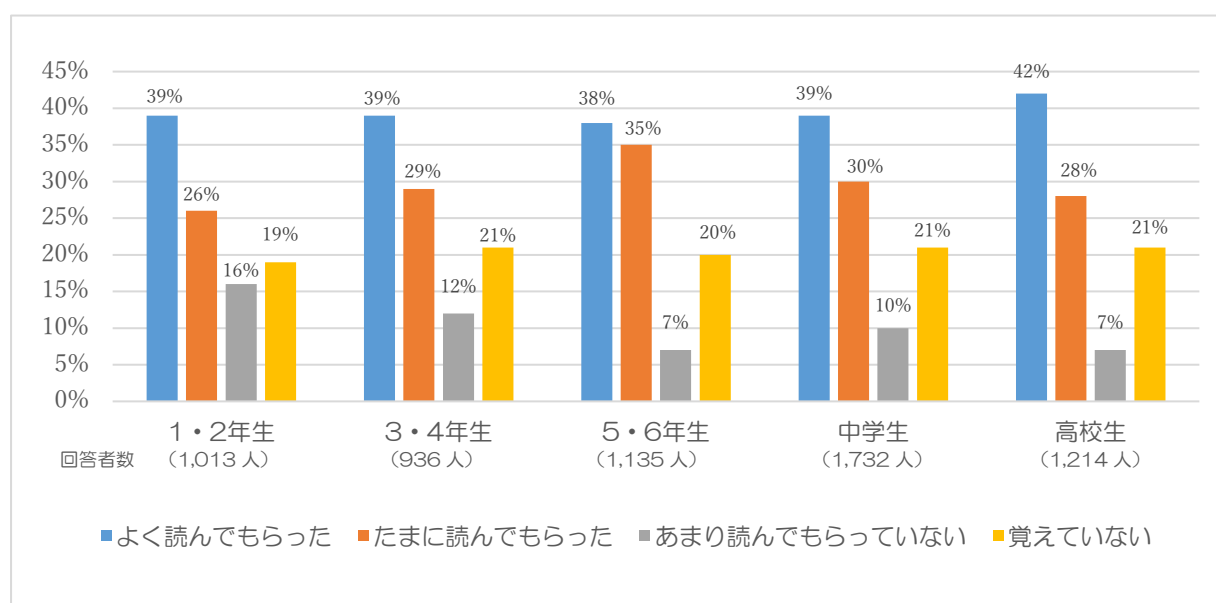
どの世代も50%以上が「あまり行かない」と回答している。学年が低いほど、「週に1～2回」行く、と答えた割合が高い。高校生は、学習するために図書館を利用している傾向がみられるため、「週に1～2回」行く、と答えた割合が中学生よりも高くなっていると考えられる。



【家庭での読書環境】

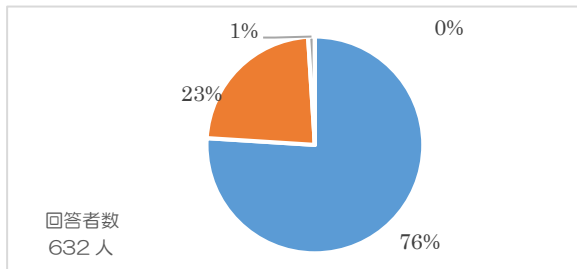
10. 小学校へ入学するまでに、家で本を読んでもらいましたか？

どの世代も約70%が「よく読んでもらった」または「たまに読んでもらった」と回答している。



(2) 市内保育園・幼稚園・こども園等に通う 3～5 歳児の保護者アンケート

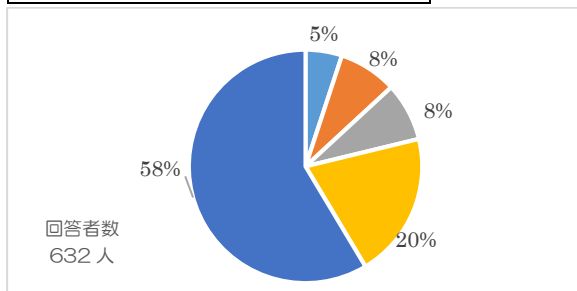
1. お子さんが本に興味を持つことは、お子さんの成長に必要だと思いますか？



99%が「必要である」または「どちらか」というと必要である」と回答している。

■とても必要：76% ■どちらかというと必要：23%
■それほど思わない：1% ■必要でない：0%

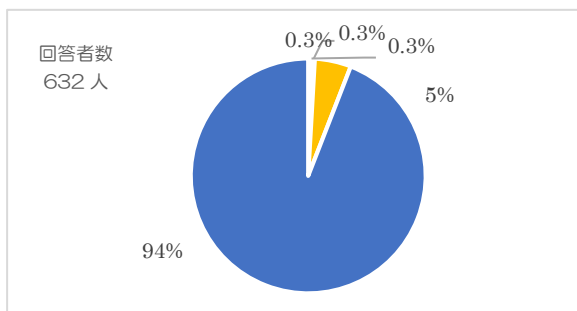
2. ご自身は読書をされますか？



42%が「月に数回」以上、読書をしている。
58%が「ほとんど読まない」と回答している。

■毎日：5% ■週に 2～4 回：8%
■週に 1 回：8% ■月に数回：20%
■ほとんど読まない：58%

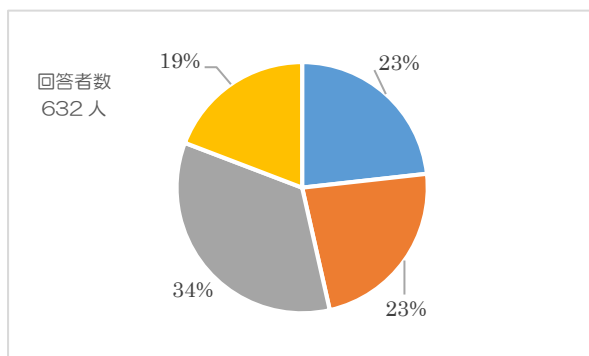
3. ご自身は電子図書館を利用されていますか？



94%が「利用しない」と回答している。

■毎日 ■週に 2～4 回 ■週に 1 回
■月に数回：5% ■利用しない：94%

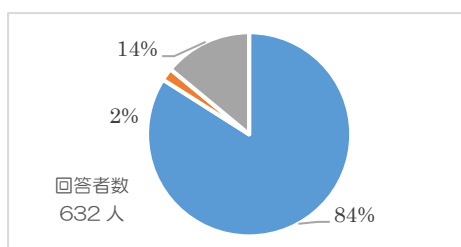
4. お子さんに読みきかせをしていますか？



約 80%が「週に 1 回」以上読みきかせをしている。

■毎日：23% ■週に 3 回：23%
■週に 1 回：34% ■読んでいない：19%

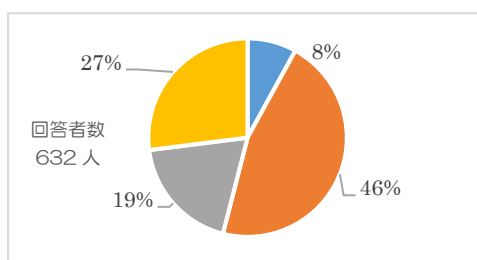
5. お子さんは絵本に興味・関心がありますか？



84%が興味・関心が「ある」と回答している。

■ある：84% ■ない：2%
■どちらともいえない：14%

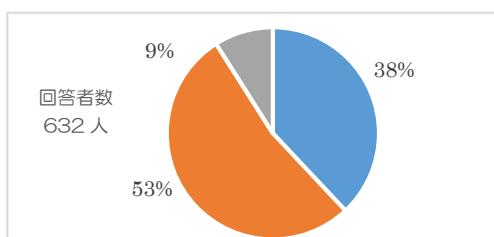
6. お子さんと一緒に図書館や書店に行きますか？



54%が「月に1～2回」以上の割合である。

■週に1～2回：8% ■月に1～2回：46%
■年に1～2回：19% ■あまり行かない：27%

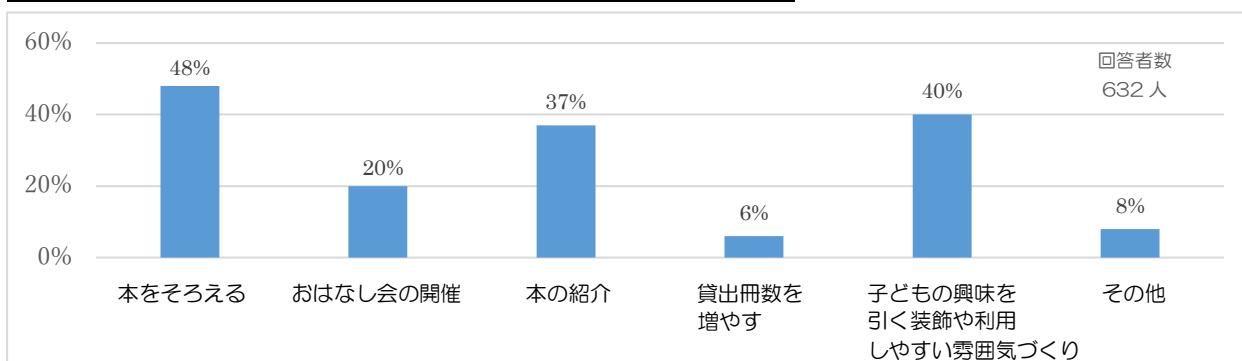
7. 図書館のイベント（おはなし会）に参加されたことはありますか？



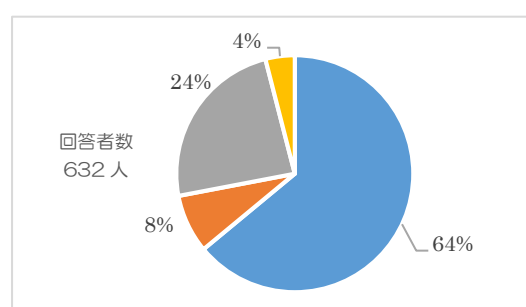
53%が「参加したことがない」と回答している。

■参加したことがある：38%
■参加したことがない：53%
■知らなかった：9%

8. 公共図書館に望むことはどんなことですか？（複数回答）



9. 子どもの読書活動の推進を図るうえで、最も重要だと思うものはどれですか？



64%が「家庭での読書習慣の定着」と回答している。
家庭での取組が重要であると考えている保護者が多い。

■家庭での読書習慣の定着：64%
■公共図書館の充実：8%
■幼稚園・保育園・こども園等の図書コーナーの充実：24%
■その他：4%

2 第3次計画における取組の成果と課題

（１）家庭で本と出会う

関係機関が講演会やおたよりなどさまざまな機会をとおして、家庭での読みきかせや読書（家庭読書）の大切さを啓発する取組を進めました。

母子健康手帳交付時に、妊娠・出産に関する本などの「子育ておうえん本！リスト」を配布し、妊娠期の保護者へ読みきかせの実演を行い、読みきかせの大切さや本の紹介、図書館の利用方法やイベント等についての案内など、出産前からの啓発にも取組みました。

4か月児健診時のブックスタート※1を継続し、ボランティアによる読みきかせを体験してもらうことで、親子で絵本の楽しさを分かち合う（share books）大切さを伝え、乳幼児期からの読みきかせにつなげています。

10か月児健診時で実施している「読みきかせについてのアンケート調査」では、回答者の90%以上が「ブックスタートの本を読んでいる」または「読みきかせをしている」と回答、また、3～5歳児の保護者アンケート結果では、約80%が「週に1回」以上読みきかせをしている」と回答しています。しかし、53%が図書館のイベント（おはなし会）に「参加したことがない」と回答しており、家庭における絵本との関わりを推進していくとともに図書館利用について周知していく必要があります。

（２）保育園・幼稚園・こども園等で本と出会う

保育園・幼稚園・こども園等では、毎日の絵本の読みきかせや、絵本コーナーを設置して季節の絵本やおすすめ絵本を展示・貸出し、園のおたよりで紹介するなど、園・家庭で子どもたちが本と出会える環境づくりを継続してきました。また、職員相互でのおすすめ本を共有し、研修会を実施するなど、子どもたちがより本を楽しむことができるよう職員のスキル向上に努めました。

3～5歳児の保護者へのアンケート結果では、絵本に興味・関心が「ある」子どもが80%以上を占めており、絵本との関わりが深いことがわかります。また、「子どもの読書活動の推進を図るうえで最も大切なこと」に「家庭での読書習慣の定着」と答えた割合が最も高く、今後も、家庭における読書の楽しさと大切さを広める取組を続けていく必要があります。

（３）学校で本と出会う

小中学校では、朝読書や昼休みを活用した読書の実施や、読書感想文の取組などを行い、日常的に本にふれる機会をつくることで、児童・生徒の「読む力」を育てるよう努めてきました。

また、電子図書館のIDを市内の小中学校の児童・生徒に付与し、学校等での読書に活用しています。市立小中学校の学校図書館では、図書館システムを導入し、利便性の向上をはかり、貸出の増加につなげました。

小学校では学校読書ボランティアによる読みきかせや学校司書によるブックトーク※2などが行われ、中学校では図書委員会を活用した生徒主体の取組を実施している学校もあります。

す。また、おすすめ本の紹介や読書量調査などを掲載した「たより」を作成するなど、各校それぞれ工夫しながら、読書啓発に努めました。

市内の児童・生徒の個別アンケート結果では、読書が「好き」と答えた割合が最も高く、また、本を読む理由に「本を読むのが楽しい」、「想像したり自分の考えが広がるから」と回答した割合が高く、学校生活において読書が定着していることがわかります。しかし、学年が上がるにつれ、本を「読まない」と回答している割合が高くなっており、学年に応じた取組を行うことが必要です。

今後も、読書の楽しさを伝え広げるとともに、デジタル社会に対応しながら、紙媒体と電子書籍のメリットを活かし、より一層学校図書館の充実を図る必要があります。

（４）市立図書館で本と出会う

市立図書館では、図書館読書ボランティア※3 を募り、多くのボランティアの協力により、乳幼児向けや小学生向けなど、さまざまなおはなし会を実施することができました。出張おはなし会では、日頃、図書館へ来ない子どもたちへ読みきかせの楽しさを伝えることができました。

また、絵本作家を招いての読みきかせやワークショップ、工作・実験教室などの体験型講座の開催や、分館において、地域と連携した独自の取組を実施するなど、図書館や本に興味をもってもらうきっかけづくりに努めました。

園児、小学生の「社会見学」や中学生の「職場体験」、高校生の「インターンシップ」を積極的に受け入れ、また、夏休みのおすすめ本のPOP展示など高校との連携も進めました。

市内の児童・生徒の個別アンケート結果によると、60%以上が図書館へ「あまり行かない」と回答しており、また、3～5歳児の保護者アンケート結果では、53%が図書館イベント（おはなし会等）に「参加したことがない」と回答していることから、より多くの子どもが本に興味と親しみをもてるよう、関係機関と連携し、図書館利用者の増加に向けた取組の充実に努めていく必要があります。

（５）地域で本と出会う

児童館では、図書コーナーを設置し図書の貸出を行うとともに、図書館職員やボランティアによる出張おはなし会の活用や図書館の団体貸出による大型絵本や紙芝居を活用し、読みきかせを行うなど、児童が本に興味・関心をもつ工夫をしています。また、絵本の展示や乳幼児とその保護者を対象とした読みきかせを行い、親子で絵本にふれる取組も行いました。

放課後児童クラブにおいても、出張おはなし会の活用のほか、「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット※4（以下、「貸出セット」という。）を活用して幅広いジャンルの絵本を支援員が読みきかせを行うなど、子どもが本と親しむ機会の提供に努めました。

今後も、これらの取組を継続し、子どもが地域で本にふれ、読書を楽しめる環境づくりを進める必要があります。

第3章 「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」の基本方針

- 1 子どもが本と出会い、読書の楽しさを体験する機会を広げる
- 2 読書をとおして学ぶ力・考える力・判断する力を伸ばす
- 3 子どもと本をつなぐ 人と場を育む取組を進める

1 計画の理念

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものであり、デジタル化の急速な発展など社会情勢が大きく変化する中においても、読書活動が子どもの成長に必要なものであることは変わりません。

子どもの読書活動を推進するために大切なことは、子どもたちが「読書の楽しさを体験すること」と「体験できる環境を整えること」です。

子どもが読書を楽しみ、面白いと感じ、自ら「読書」を選ぶ力をつけるために、家庭・学校・地域で子どもがそれぞれの発達段階に応じた読書活動ができる環境をつくり、地域社会全体で推進していく機運の醸成を図るために、施設や地域・家庭とどのように協力・連携していくかを示す3つの基本方針を定めました。

一冊の本との出会いが生涯の宝となるよう、子どもたちが読書を楽しみ、読書をとおして「生きる力」を培い成長する環境を整え、本市の教育目標である「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」に向けた取組を進めます。

2 計画の推進体制

関係機関との連携を図るため庁内に設置した「福知山市子どもの読書活動推進連絡会※5」が、本計画の実施状況を把握し、効果的な読書活動を推進します。

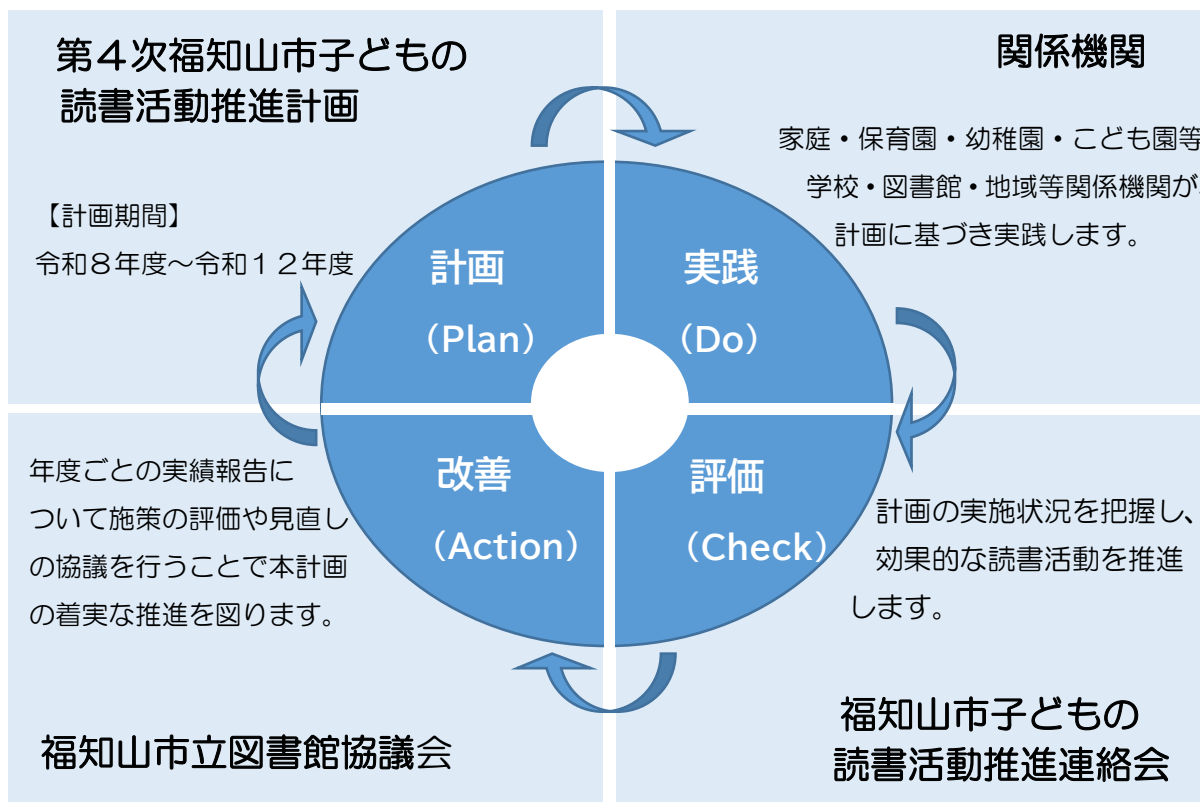
また、本計画の実施状況については、「福知山市立図書館協議会※6」に報告し、施策の見直しについての協議を行うことで本計画の着実な推進を図ります。



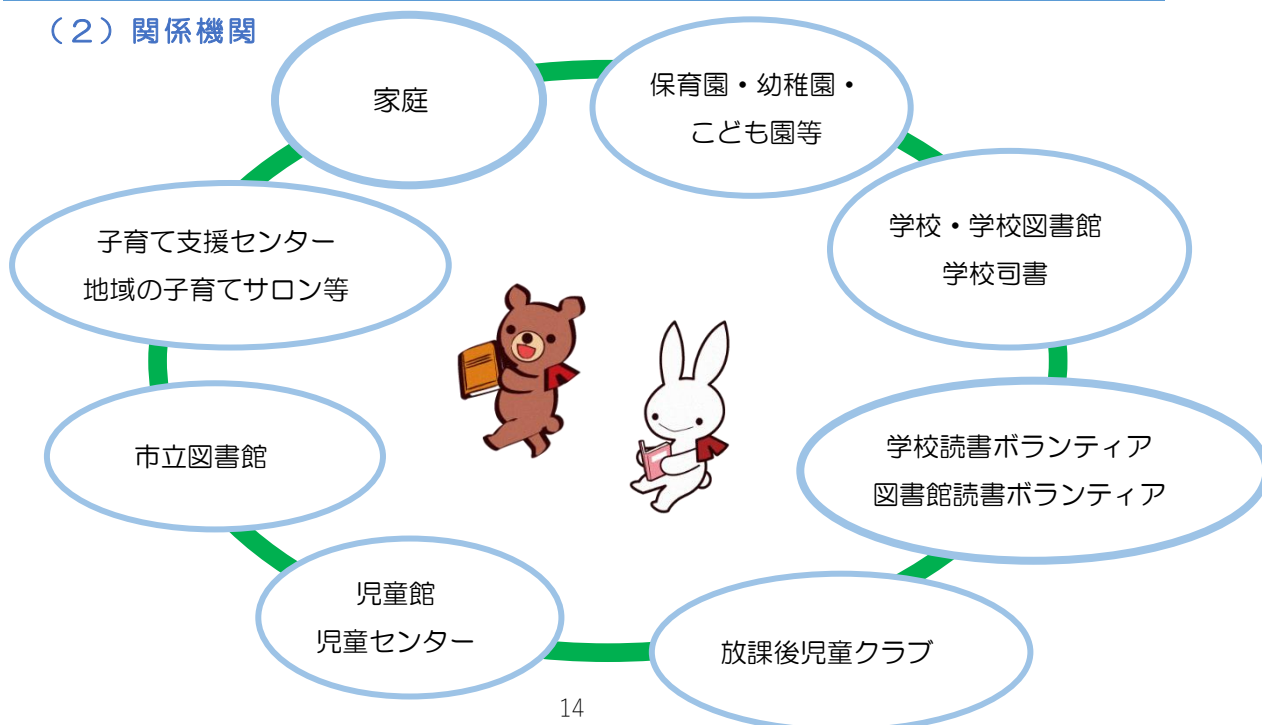
3 計画の進行管理

計画の着実な推進、進行管理を行うため、計画を立案し（Plan）、実践する（Do）ことはもちろん、計画策定後も適切に評価（Check）、改善（Action）が行えるよう、循環型のマネジメントサイクル（PDCA サイクル）を構築します。

（１）PDCA サイクル

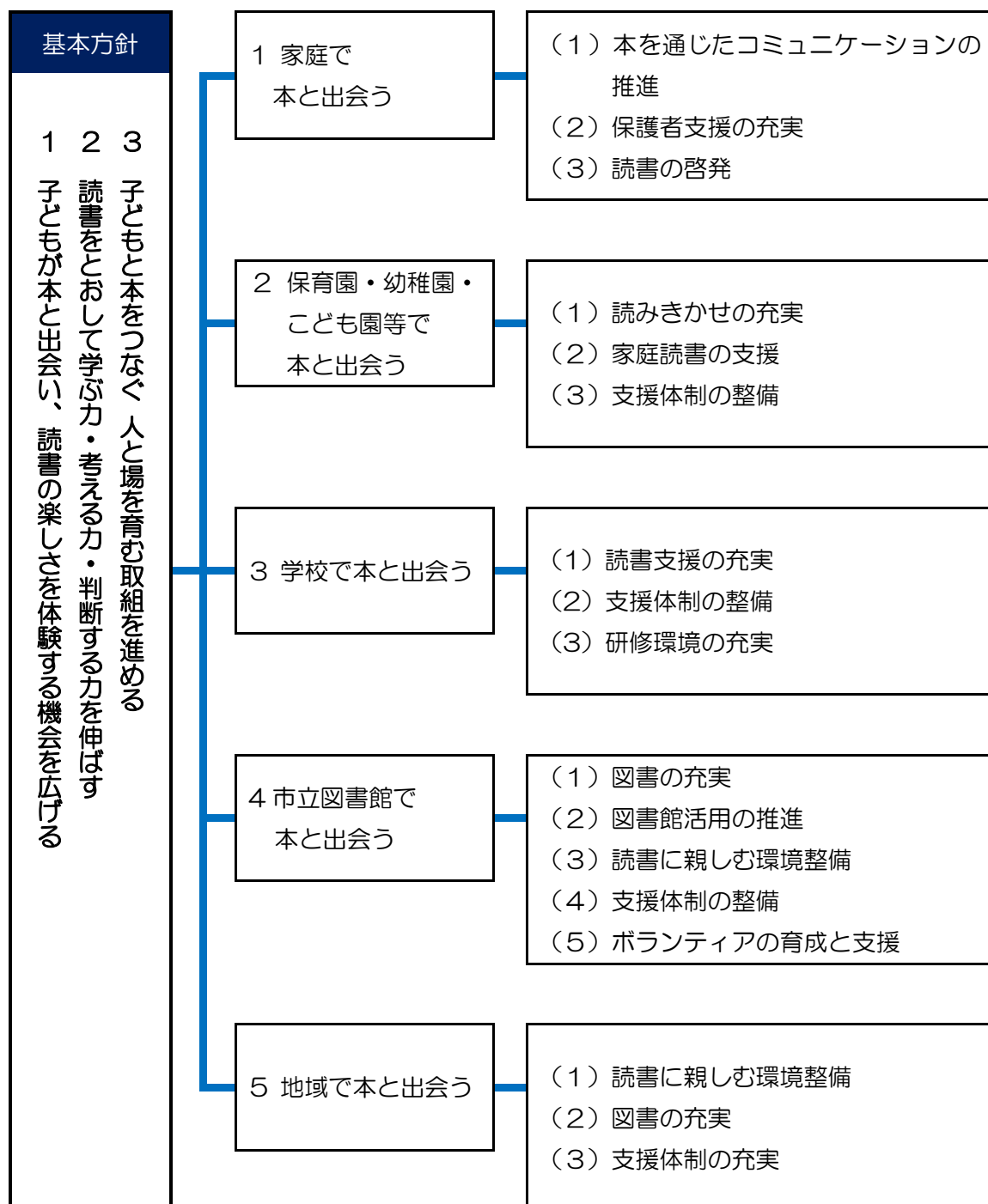


（２）関係機関



4 施策体系

第3次計画の実績と課題、及び本章に示した基本方針を踏まえて、次の5つの子どもを取り巻く環境から子どもの読書活動を推進していきます。



第4章「第4次福知山市子どもの読書活動推進計画」の具体的方策

1 家庭で本と出会う

— 言葉とふれあい、人とふれあいます —

子どもにとって、乳児期の言葉の体験は、言葉を学び、感性を磨き、創造する力を豊かにするために大切です。

家庭での読みきかせや、一緒に読書をすること、また、身近な大人が読書を楽しむ様子を見ることで、子どもが読書への興味、関心を持つことにもつながります。

そのため、子どもと関わるすべての大人が子どもが本とふれあう意義や重要性について理解を深め、子どもとの関わりの中に積極的に本を取り入れられるよう取組を進めていきます。



令和6年度図書館100周年記念事業
「フォトコンテスト」応募写真より

（１）本を通じたコミュニケーションの推進

事業内容・具体的取組

- 読みきかせや読書が、子どもとのコミュニケーションに有用であることを啓発する講演会や親子イベントなどの開催に努めます。
- 市立図書館のおはなし会などを開催し、親子で読みきかせを楽しむ機会を提供します。
- 図書館職員・ボランティアによる出張おはなし会の充実を図ります。
- 絵本や児童書、子育てなどのテーマに応じた貸出セットを子育て支援センター等で活用します。

（２）保護者支援の充実

事業内容・具体的取組

- 4か月児健診時にブックスタートを実施し、10か月健診時にも引き続き読みきかせを行うなど、乳幼児期からの継続的な取組を進めていきます。
- 妊娠期の保護者への読みきかせや図書館利用の啓発を継続します。
- 親子で読書を楽しめる場所や講座の周知を行い、絵本をとおした親子の居場所づくりに努めます。
- 母子健康手帳交付時に「妊娠、出産、育児に関する本のリスト」、妊娠期の保護者向け「パパママおうえんリスト」、4か月児健診時に「子育ておうえん本のリスト」を配布し、きめ細やかな読書支援を行います。

(3) 読書の啓発

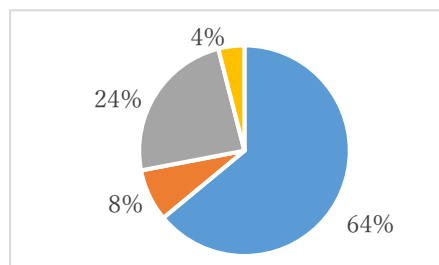
事業内容・具体的取組

- 「としょかんだより※7」に加え、「乳幼児向けとしょかんだより」を作成し、家庭での読書の啓発に努めます。
- 子育て情報誌への図書館情報の掲載、年齢、季節、テーマ別の「ブックリスト」の配布、子育てイベントカレンダーでおすすめ絵本を紹介するなど、新規利用者の増加に努め、家庭での読書につなげます。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をとおして、読みきかせなどの事業について情報を共有するとともに、連携して広報を行い周知を図ります。

保護者アンケート

3～5 歳児の保護者アンケート結果より (回答者数：632 人)

(読書推進に重要なこと)



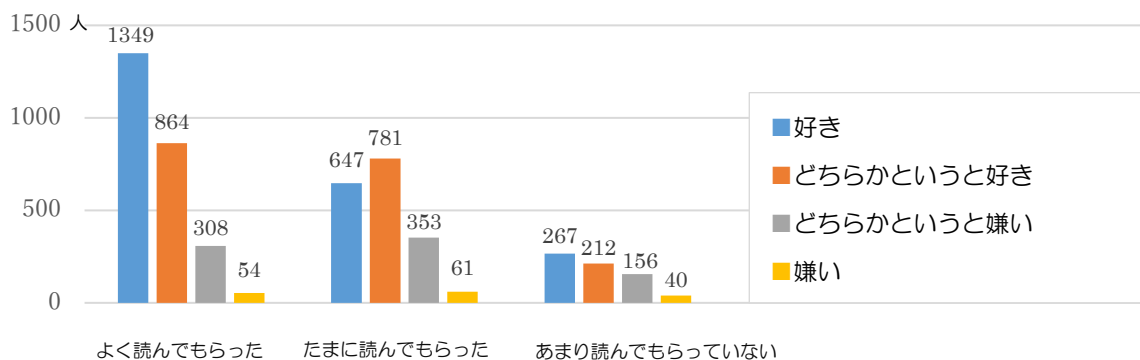
■ 家庭での読書習慣の定着	64%
■ 公共図書館の充実	8%
■ 保育園・幼稚園・こども園等の図書コーナーや学校図書室の充実	24%
■ その他	4%

家庭での読書習慣の定着のために、妊娠期・出産期・産後期でのブックリストの配布、「乳幼児向けとしょかんだより」の作成、子育て情報誌へのおはなし会等の情報提供、家庭向けの図書館情報の広報・周知に努めます。

児童・生徒個別アンケート結果より (回答者数：小・中・高校 6,030 人)

「小学校へ入学するまでに、家で本を読んでもらった」かどうかの回答を基に3つのグループに分けた、読書が「好き」という回答数。

「よく読んでもらった」と答えた人ほど読書が「好き」と回答している。



児童・生徒アンケート

2 保育園・幼稚園・こども園等で本と出会う

— 本の世界と出会い、楽しさを体験します —

本と出会い読書の楽しさを体験できるように、保育園・幼稚園・こども園等で子どもと本との出会いを支援します。保育園・幼稚園・こども園等で心豊かに読書の楽しさを味わった子どもたちが、家庭でも本とふれあう機会が増えるような取組を進めていきます。



(1) 読みきかせの充実

事業内容・具体的取組

- 保育士・幼稚園教諭・保育教諭等による読みきかせを継続して行います。
- 子どもが身近に本とふれあえるような読書コーナーの設置やおすすめ絵本の展示などの環境整備に努めます。
- 図書館職員・ボランティアによる出張おはなし会や「図書館社会見学※8」の活用を図ります。

(2) 家庭読書の支援

事業内容・具体的取組

- 参観日や懇談会などの機会に、毎日の生活に絵本を取り入れる工夫について紹介するなど「絵本を活用した子育て」の提案に努めます。
- 保育園・幼稚園・こども園等や市立図書館で開催する講演会などの広報に努め、保護者の参加を促します。
- 「乳幼児向けとしゃかんだより」や季節やテーマごとの「ブックリスト」を作成・配布し、「園だより」等で本の紹介に努め、園や家庭での読書につなげます。

(3) 支援体制の整備

事業内容・具体的取組

- 家庭でも読みきかせができるよう絵本の貸出などの支援体制づくりを進めます。
- 子どもたちの読書体験をより豊かなものとするため、保育士や保育教諭等に対する読みきかせに関する研修や講演会の開催など、スキル向上に努めます。
- 絵本などのテーマに応じた貸出セットを保育園・幼稚園・こども園等で活用し、図書の実践に努めます。
- 市立図書館の特別貸出制度※9による団体利用や、移動図書館を活用し、保育園・幼稚園・こども園等の図書の充実に努めます。

【保育園・幼稚園・こども園等】全 41 園（回答数：34 園）

関係機関における読書活動調査結果より

設 問	保・こども園等	幼稚園
毎日読みきかせをしている	30 園	4 園
園の絵本を貸出している	17 園	4 園
保護者へ読みきかせの啓発をしている	20 園	4 園

【園での保護者への啓発のための具体的な取組事例】

- 園だよりやクラスだよりで読みきかせの啓発や絵本を紹介
- 絵本カフェ
- 絵本の読みきかせの講演会を実施
- 保育参観などで絵本の読みきかせや紹介
- 療育の個別時間に好きな絵本で楽しむ姿を保護者と共有 など

3～5 歳児の保護者アンケート結果の意見より

（読書推進に重要なこと）

- 園でたくさん読みきかせをしてもらいたい。近くの児童館などでもあったら嬉しい。
- 子どもたちや保護者に、その子その子に合う本を薦めてくれる人がいるといい。
- 子ども本人が、自分の好きな本や読んだ本について、だれかに語ったり紹介したりできる場を持てること。
- 読書のおもしろさを家庭、保育園等、図書館などで伝えること、知ってもらうこと
- 本とふれ合えて子どもも遊べる場所がほしい。
- 親も一緒に読書できる本を楽しめること
- 読書の大切さを親に伝える⇒子どもの言葉の広がりにつながる



読みきかせの様子



図書館社会見学

3 学校で本と出会う

— 子どもの意欲的な読書活動を支援します —

学校図書館は、学校教育の中で児童・生徒が自由に読書を楽しみ、創造力を培い、豊かな心を育む機能と、学習に対する興味・関心などを呼び起こし児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する機能を果たすことが期待されます。

学校図書館運営は、司書教諭や学校司書が中心となって、教職員や保護者などが連携・協力し、学校図書館の機能充実につながる取組を進めていきます。

また、電子図書館や学校図書館システムを活用して効率化を図り、より充実した読書活動支援を行います。



(1) 読書支援の充実

事業内容・具体的取組

- 小中学校での毎日の読書を継続して行います。
- 「学校だより」や「学校図書館だより」「学級通信」などを活用して児童・生徒や保護者に読書の大切さを啓発します。
- 市立図書館の「としょかんだより」の配布を継続するほか、テーマごとの「ブックリスト」や「ブックトーク紹介本リスト」を活用し、読書支援に努めます。
- 紙の本と電子図書館の本のそれぞれの利点を活かし、目的に応じて活用します。
- 学校図書館の資料の充実を図るとともに、学校図書館システムを活用し、読書活動の充実に努めます。
- 学校図書館を毎日開館し、利用しやすい環境整備に努めます。

【学校】関係機関における読書活動調査より 回答数：小学校 14 校／中学校 10 校

設 問	小学校	中学校
「読書の時間」を設けている	13校	8校
学校図書館を毎日開館している	11校	6校
読書活動推進のための取組を行っている	10校	3校

【学校における読書活動推進のための具体的な取組事例】

- 読みきかせ ○ ブックトーク ○ 図書クイズ ○ ビブリオバトル ○ 本の展示
- 学校図書室ガイダンス ○ 週末読書 ○ 家庭読書 ○ 読書ビンゴ など

関係機関
読書活動
調査

（２）支援体制の整備

事業内容・具体的取組

- 市立図書館の「社会見学」・「職場体験」の活用を図ります。
- 市立図書館の絵本や児童書などのテーマに応じた貸出セット、京都府立図書館の「学校支援セット※10」を学校で活用します。
- 市立図書館の特別貸出制度による団体利用や移動図書館を学校で活用します。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をとおして、学校とボランティアなどが連携し、学年に応じた取組の大切さを共有して実施に努めます。



図書館社会見学



移動図書館

（３）研修環境の充実

事業内容・具体的取組

- 学校司書と市立図書館が、学校図書館のより良い運営・活用について連携して取組めます。
- 職員のスキルアップのための読書活動の推進や図書館教育に関する研修などを実施します。

【学校】関係機関における読書活動調査より

回答数：小学校 14 校／中学校 10 校

電子図書館の利用	小学校	中学校
朝読書	5 校	3 校
昼休み	2 校	3 校
授業中以外	5 校	5 校
授業で使用	11 校	2 校
利用していない	0 校	3 校

【学校での主な意見】

- しらべ学習や朝読書で活用している。
- 図書室へ行ったり、席を立たなくてもその場で読書ができる。
- 紙の本と電子書籍を上手く使い分ける必要がある。

関係機関
読書活動
調査

4 市立図書館で本と出会う

― 読書をとおして、子どもの世界を広げます ―

子どもにとって、図書館は、読書を楽しみ、知識や情報を得るだけでなく、地域やそこで出会う人ともつながることができる、生活と成長に必要な機能を持つ施設です。

それぞれの地域にある図書館の特色を活かしながら、図書館の機能を最大限に発揮し、子どもの読書活動に関わる学校や保育園・幼稚園・こども園等、児童館、児童センター、放課後児童クラブ、地域文庫、ボランティアなどと連携・協力することで、読書活動を推進していきます。



令和6年度図書館開設100周年記念事業
劇団「なんじゃもんじゃ」演劇鑑賞

（１）図書 の 充 実

事業内容・具体的取組

- 「佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金※11」などを活用し蔵書の充実に努め、令和12年度末に児童書所蔵数 150,000 冊を目指します。（令和6年度末所蔵数：139,289 冊）
- 障害の有無や発達の違いに関わらず、すべての子どもたちが読書に親しめるよう、子ども向け大活字本やマルチメディア DAISY、布絵本などのバリアフリー資料※12 や外国語の絵本などの充実に努めるとともに、電子図書館の読み上げ機能や拡大機能の活用を推進します。

（２）図 書 館 活 用 の 推 進

事業内容・具体的取組

- 学校等の「社会見学」の受け入れを継続し、児童・生徒に対して図書館活用を推進します。
- 移動図書館の資料の充実を図るとともに、保育園・幼稚園・こども園等、学校への特別貸出制度やテーマ別貸出セットの活用を進めます。
- 中学生・高校生の利用を促進するため、読書活動推進団体※13 と連携を図りながら、ティーンズコーナーの充実に努めます。
- 中学生・高校生の「職場体験」・「インターンシップ」を受け入れるとともに、中学校・高校と連携した事業（おすすめ本の POP 展示など）を継続します。
- 「幼児向けとしょかんだより」を作成し、配布するほか、テーマごとの「ブックリスト」や「ブックトーク紹介本リスト」を配布します。
- 各図書館（中央館・三和分館・夜久野分館・大江分館）の特色を活かし、地域に密着した取組を推進します。

（３）読書に親しむ環境整備

事業内容・具体的取組

- 読書の楽しさを体験できる取組（おはなし会や工作教室・実験教室など）・季節やテーマに沿った特集展示を企画し、実施します。
- 展示や装飾による関連本の紹介やおすすめ本の POP を作成し、子どもたちが利用しやすい雰囲気づくりに努めます。
- SNS 等を活用し、積極的な情報提供に努めます。

（４）支援体制の整備

事業内容・具体的取組

- 学校と連携し図書館を学校情報の発信の場として提供することで、図書館が児童・生徒たちの身近な存在となることを目指します。
- 障害者手帳や療育手帳をもつ子どもへの「宅配貸出サービス」やバリアフリー資料リスト、外国語絵本リストなどを広報・周知し、活用につなげます。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をととした関係機関との連携を継続します。
- 学校図書館のより良い運営・活用について、学校司書と市立図書館が連携して取組めます。

（５）ボランティアの育成と支援

事業内容・具体的取組

- 図書館読書ボランティア研修を随時実施し、新規ボランティアの受入・育成に努めるとともに、図書館読書ボランティア・読書活動推進団体の活動を支援します。
- 「出張おはなし会」の依頼を積極的に受け入れ、図書館職員・ボランティアによる館外活動における読書普及啓発に努めるとともに、新規利用者の増加に努めます。

3～5 歳児の保護者アンケートの意見より

（公共図書館に望むこと）

- 土日のおはなし会を増やしてほしい。
- こどもが騒いでも気にしなくてよい環境。
- イベントをしていることを SNS で広めてほしい。
- 絵本作家のイベントをしてほしい。
- こどもが本を選びやすい、探しやすい環境。
- 新刊本や季節の本の見やすいポップや本の紹介をしてほしい。

保護者
アンケート



5 地域で本と出会う

- 人と本とのかかわりで、
豊かな交流のまちをつくります —

子どもの読書活動を推進するためには、身近なところで読書に親しめる環境を整備し、お互いに連携しながら活動を進めていくことが重要です。

児童館や放課後児童クラブなど、地域での読書環境を豊かにし、子どもの創造力や知識の獲得に大きな役割を果たすために、子どもが集まる場所で読書活動の推進を図ります。



読みきかせの様子

（１）読書に親しむ環境整備

事業内容・具体的取組

- 地域において読書できる児童館や地域文庫などの広報に努めます。
- 図書館職員・ボランティアによる出張おはなし会や見学会等の活用を図ります。

（２）図書の充実

事業内容・具体的取組

- 市立図書館の団体貸出や絵本・児童書などのテーマに応じた貸出セットを活用し、図書の充実に努めます。
- 地域と市立図書館が京都府立図書館と連携し、貸出文庫制度を活用することで地域の図書の充実を図ります。

（３）支援体制の充実

事業内容・具体的取組

- 「としょかんだより」を活用するほか、テーマごとの「ブックリスト」や「ブックトーク紹介本リスト」を活用し、読書支援に努めます。
- すべての子どもたちが本に親しめるよう、市立図書館のバリアフリー資料リスト、外国の絵本リスト、テーマ別・年齢別のブックリストなどを活用します。
- 読みきかせに関する研修や講演会に参加する環境を整え、子どもたちの読書体験をより豊かなものとするよう努めます。
- 地域のボランティアと連携した取組の充実に努めます。
- 「福知山市子どもの読書活動推進連絡会」をとおした関係機関との連携を継続します。

参考資料

関係機関における子どもの読書活動調査結果

(1) 関係機関における子どもの読書活動調査について

市内の保育園・幼稚園・こども園等、学校、放課後児童クラブ、児童館など関係施設の読書活動の取組の実態把握のための施設アンケート調査を実施しました。

【調査の概要】 市内：97施設（回収数：86施設／回答率：89%）

調査対象	学 校	小学校（14校）・中学校（11校）
		高等学校（6校）・支援学校（1校）
	幼保施設	保育園（16園）・幼稚園（4園）こども園（11園）・療育園（1園）・小規模園（9園）
	放課後児童クラブ	（15クラブ）
	児童館・児童センター	（9館）
調査時期	令和7年7月～8月 ※令和6年度実績報告含む	
調査方法	郵送・メール等による配付・回収	

(2) 関係機関における読書活動調査結果

【幼保施設】 保育園・幼稚園・こども園等全41園（回答数：34園）

NO	設 問	保・こども園等	幼稚園
1	毎日絵本の読みきかせ等の時間がある	30園	4園
2	ボランティアを活用している	1園	1園
3	園の本を貸出している	17園	4園
4	保護者への読みきかせを啓発している	20園	4園
5	図書館の団体貸出を利用している	21園	4園

保護者への読みきかせの啓発【具体的取組】

- 園だよりやクラスだよりで読みきかせの啓発や絵本を紹介 (22園)
- 保育参観などで絵本の読みきかせや紹介 (5園)
- 月刊誌を購入、持ち帰り (3園)
- 絵本の読みきかせの講演会を実施／○絵本カフェ (1園)
- 読みきかせのポイントや効果・絵本にふれることの大切さなどを紹介 (1園)
- 療育の個別時間にお子さんの好きな絵本で、楽しむ姿を保護者の方と共有 (1園)

求める読書支援サービス

- 読みきかせ・ブックトーク・おはなし会の実施 (11園)
- 研修会・講座の開催 (10園)
- 貸出セット・団体貸出サービス (6園) / ○本の修理相談 (2園)
- その他：移動図書館車・どんな子どもでも楽しめる本（触れる・音が出る本）

【小学校・中学校】 小学校：14校（回答数：14校） 中学校：11校（回答数：10校）

NO	設 問		小学校	中学校
1	読書の時間を設けている		13校	8校
2	毎日学校図書室を開館している		11校	6校
3	電子図書館 の利用状況	朝読書	5校	3校
		昼休み	2校	3校
		授業以外	5校	5校
		授業中	11校	2校
		利用していない	0校	3校
4	読書活動推進のための取組を行っている		10校	3校
	読書推進の 具体的取組	読みきかせ	12校	2校
		ブックトーク	6校	1校
		図書クイズ・図書館ビンゴ	11校	0校
		ビブリオバトル	2校	1校
		本の展示・本の紹介	9校	7校
		学校図書室ガイダンス	9校	5校
5	週末読書・家庭読書		13校	0校
	ボランティアを活用している		12校	0校

求める読書支援サービス

- 団体貸出（特別貸出制度） / ○ 図書館見学 （5校） / ○ 移動図書館 （2校）
- 貸出セット・府立支援セット / ○ 図書館だより・ブックリスト （3校）
- その他意見：○ 特別貸出制度になって助かっている。
 - 2年生の図書館社会見学と貸出体験を通して、家族で図書館を利用する児童が増えた。
 - としょかんだよりやブックリスト、新刊本を参考にしている。

【高等学校】 市内高等学校：6校（回答数：3校）

NO	設 問	高等学校
1	読書の時間を設けている	2校
2	毎日学校図書室を開催している	3校
3	読書活動推進のための取組を行っている	3校
	おすすめ本の紹介・展示・図書だより・広報誌の発行	3校
	ビブリオバトル	2校
4	専任の学校司書を配置している	3校

求める読書支援サービス

- 本の修理相談 / ○ 貸出セット・団体貸出サービス

【支援学校】

読書推進の取組

- 学校で読みきかせを実施 ○ 図書館の出張おはなし会を活用 ○ 特別貸出制度の利用

求める読書支援サービス

- 出張おはなし会・図書館社会見学 など。 ※貸出セットは管理が困難なため、利用していない。

【放課後児童クラブ】 クラブ数：15 クラブ（回答数：15 クラブ）

NO	設 問		はい
1	絵本の読みきかせをしている		14 クラブ
2	ボランティアを活用している		2 クラブ
3	絵本の貸出をしている		5 クラブ
4	図書館の団体貸出を利用している		14 クラブ
5	読書支援サービスの利用	貸出セット	7 クラブ
		人権ブックリスト	3 クラブ
		小冊子「しょうかいしますこんな本」	2 クラブ
		出張おはなし会	1 クラブ
		図書館見学	2 クラブ

求める読書支援サービス

- 読みきかせ・ブックトーク・おはなし会 (5 クラブ)
- 研修会・講座の開催 (3 クラブ)
- 本の修理相談・貸出セット・団体貸出サービス (1 クラブ)
- その他意見：○ 図書館の除籍本を提供してほしい。
 - 本を運ぶカート・箱を貸してほしい。
 - 貸出セットの内容を更新してほしい。



【児童館・児童センター】 児童館：9 館（回答数：9 館）

NO	設 問	はい
1	絵本の読みきかせをしている	8 館
2	ボランティアを活用している	6 館
3	本の貸出をしている	9 館
4	貸出セットを利用している	1 館
5	図書館の団体貸出を利用している	6 館

求める読書支援サービス

- 読みきかせ・ブックトーク・おはなし会 / ○ 除籍本の提供 (3 館)
- 本の修理相談・貸出セット・団体貸出サービス (2 館)
- 研修会・講座の開催 / としょかんだより・ブックリスト / バリアフリー資料 (1 館)
- その他意見：○ 団体利用券の自動更新をしてほしい。
 - 団体資料が2点までしか借りられない。
 - 小学生向けのブックトークをしてほしい



用語解説

※	用 語	解 説
1	ブックスタート	1992年に英国で始まった取組で、日本では2001年4月に12市町村が実施をはじめ、全国各地域に広がっている。 福知山市では、平成15年度から4か月児健診時にボランティアによる絵本の読みかきを親子で体験してもらうとともに、絵本などのプレゼントを行っている。
2	ブックトーク	子どもたちに本や読書への興味を持ってもらえるよう、テーマに沿って何冊かの本を紹介することをいう。
3	図書館読書ボランティア	図書館のおはなし会や出張おはなし会など図書館事業に協力する団体及び個人。年度毎の登録制とし、さまざまなおはなし会に協力いただいている。
4	「暮らしに読書を、おうえん」貸出セット	図書館職員が選書した本をセットにして、子育て支援施設、小学校や保育園・幼稚園・子ども園等、児童館、放課後児童クラブなどに貸出サービスを行う取組。 【通常貸出：100冊まで2ヵ月間／特別拡大：200冊まで6ヵ月間】
5	福知山市子どもの読書活動推進連絡会	子どもの読書活動の推進を円滑に進めるため平成28年度に設置した、福知山市役所内の連絡会。教育委員会（教育総務課・学校教育課・生涯学習課）と、こども家庭部（こども福祉課・こども家庭支援課・幼保支援課）の職員で組織し、図書館が事務局となって相互の連携を図っている。
6	福知山市立図書館協議会	図書館協議会の設置は、図書館法第14条及び福知山市立図書館条例第7条・福知山市立図書館条例施行規則第5条の規定に基づき、図書館協議会を置くに基づく。 図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関
7	としょかんだより	図書館行事の案内やおすすめ本の紹介などを掲載した福知山市立図書館の小中学生向け広報誌。年4回発行し、市立小中学校の児童生徒に配布している。
8	図書館社会見学	園児・小学生が、図書館の見学や貸出体験、おはなし会などを通して図書館の利用法について学び、本とふれ合う機会として、社会見学の受け入れをしている。
9	特別貸出制度	市内保育園・幼稚園・こども園等、小中学校の団体に対する特別貸出制度。小中学校関係職員であれば、1人につき30冊程度の貸出ができる制度。 ※幼保施設には、特別貸出カードを配付している。
10	学校支援セット	京都府立図書館が府内の学校に対して、調べ学習等に役立つ図書をテーマごとにセットで貸出を行う取組。
11	佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金	佐藤八重子さんから「福知山のこどもたちの健やかな成長を願って」寄せられた寄附金をもとに、平成24年度に設けられた基金。図書館の児童図書購入や子どもの読書活動推進のための取組、ブックスタート事業などに活用している。
12	バリアフリー資料	障害の有無や発達の違いに関わらず、誰もが楽しめるように配慮された図書資料。LLブック（「やさしく読める本」）や点訳絵本・点字付き絵本、児童向け大活字本などがある。 【マルチメディアDAISY】視覚障害者や活字だけでは文の内容を理解しづらい人なども読みやすいように、本の文字と画像が音声と同時に再生されるよう作成されている電子図書。※障害のある児童専用資料 【布絵本】布などで作られ、さわって楽しむことができる絵本。※障害のある児童専用
13	図書館読書活動推進団体	読書活動の推進のための活動をする団体。図書館のおはなし会に限らず、展示や装飾、ポップやブックリストの作成などをしていただいている。年度毎の登録制。

策定委員会 委員名簿

(◎…委員長、○…副委員長)

(敬称略、役職等は令和7年6月現在)

区 分	氏 名	所属・役職名 等
学 識 経 験 者	◎大谷 杏	福知山公立大学 准教授
	足立 喜代美	社会教育委員 議長
福知山市立 図書館協議会	○上垣 裕子	福知山市立図書館協議会
小学校・中学校	川瀬 美保	福知山市立上豊富小学校 校長
保育園・幼稚園 こども園	長澤 三香	福知山市立夜久野こども園 園長
ボランティア	梅田 幸子	図書館環境整備ボランティア
行 政	伊豆 英一	教育委員会事務局 理事

庁 内 委 員	今福 香保里	こども家庭部 こども福祉課 額田児童館長
	杉田 直子	こども家庭部 幼保支援課 昭和幼稚園長
	田中 桃香	こども家庭部 こども家庭支援課
	申田 裕大	教育委員会事務局 教育総務課
	時武 宏戸	教育委員会事務局 学校教育課
	桐村 恵美	教育委員会事務局 生涯学習課

事 務 局	教育委員会事務局 図書館中央館
-------	-----------------

協 力	高見 享佑	大阪教育大学 准教授 ※アンケートの設計・分析に助言いただきました
-----	-------	-----------------------------------

第4次福知山市子どもの読書活動推進計画

福知山市立図書館中央館	TEL 0773-22-3225 FAX 0773-22-7118
福知山市立図書館三和分館	TEL 0773-58-4715 FAX 0773-58-4716
福知山市立図書館夜久野分館	TEL・FAX 0773-37-1066
福知山市立図書館大江分館	TEL・FAX 0773-56-1017



図書館ホームページ



FUKUCHIYAMA LIBRARY
図書館Instagram

